年金受取総額保証付変額個人年金保険GF

三味一体(世界バランス55MU)
2014年度（平成26年度）特別勘定の現況

●投資環境（2014年度）

日本株式市場

日経平均株価は、期初14,870円で始まりました。4月に5%から8%への消費増税が実施された直後の金融政策決定会合での現状維持決定を受け、4月中旬に同株価は今年度の安値となる13,885円まで下落しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定したことで外国為替市場において円安が進行し、輸出関連の大型株を中心に同株価は上昇し、12月には2007年7月以来の18,000円台まで到達しました。1月にはECBが量的緩和を3月に実施することを決定したことを好感し、米欧株価が上昇したこと等を受け、3月に日経平均株価は、2000年5月以来の今年度高値19,778円まで上昇しましたが、その後やや戻し期末は19,206円で終了しました。

外国株式市場

米国のS&P500は、期初1,873.96で始まりました。4月上旬の米企業減益決算等により、同指数は1,814.36まで一時下落しました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念、米国金融政策の量的緩和終了やエボラ出血熱の感染者拡大等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時1,820程度まで下落しました。12月に原油価格の急落、ロシアルーブルの急落、1月にスイスフランの急騰等を受けリスク回避的に同指数が2,000前後まで下落する局面がありましたが、その後堅調に推移し同指数は2月に史上最高値となる2,119.59をつけました。期末は若干値を戻しS&P500は2,067.89で終了しました。
また、英国のFTSE100は、期初6,598.37で始まりました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時6,072.68まで下落しました。その後は、徐々に上値を切り上げつつ堅調に推移し、同指数は3月には史上最高値となる7,065.08にまで上昇しました。その後、やや反落しFTSE100は6,773.04で終了しました。

日本債券市場

10年国債利回りは、期初0.64%で始まり、日銀の金融緩和策の買入継続等による国債の良好な需給環境を背景に、0.5%前後まで徐々に低下しました。9月には米国の早期利上げ観測や日本の株価上昇等に伴い、同利回りは0.58%程度まで上昇しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定すると、同利回りは0.44%程度まで低下しました。その後発表された2014年7-9月期GDPマイナス成長、消費増税の実施時期を2017年4月に確定すると安倍政権より意思表示があったことや日銀の追加緩和の効果等を受け、同利回りは1月に0.20%程度まで低下しました。1月下旬の金融政策決定会合で追加緩和策が見送られると同利回りは上昇に転じ、その後は0.30～0.50%程度の幅で推移しました。10年物国債利回りは0.40%で期末を迎えました。

外国債券市場

米国10年債利回りは、期初2.81%で始まりました。10月中旬にかけて、世界景気の減速懸念、エボラ熱感染者拡大、米国量的緩和終了等を受けたリスク回避的な動きから、同利回りは一時2.2%程度まで低下しました。また、年度後半に原油価格の下落が顕著となる中、インフレ率の低下、新興国経済の需要鈍化の観測等を背景に、同利回りは1月に1.64%まで低下しました。2～3月にかけては、米国労働市場の回復等を背景とする2015年内の利上観測等から2.2%程度まで同利回りが上昇する局面がありましたが、米国10年国債利回りは1.92%で期末を迎えました。
また、ドイツ10年国債利回りは、期初1.56%で始まりました。その後、ECBによる追加緩和期待やデフレ懸念等を背景にほぼ年度を通じて同利回りの低下局面が継続しました。3月にはECBによる量的緩和導入が決定され、0.16%程度まで一段と低下しましたが、ドイツ10年国債利回りは、0.18%で期末を迎えました。

外国為替市場

ドル円相場は、期初1米ドル＝103.07円で始まりました。4月～8月までは1米ドル＝100～105円程度の狭い幅での動きが継続しましたが、9月にはGPIF改革による海外投資拡大等への期待から1米ドル＝110円程度まで円安・ドル高が進行しました。10月下旬～月末にかけFOMCにおける米国量的緩和終了決定、日銀による追加緩和の決定等により、円安・ドル高が一段と進行し、12月には1米ドル＝122円近辺にまで到達しました。その後、3月まで1米ドル＝115～122円程度の幅で一進一退の動きが継続し、1米ドル＝119.95円で期末を迎えました。
また、ユーロ円相場は、期初1ユーロ＝141.96円で始まりました。日銀の追加緩和決定による円安・ユーロ高が進行し、12月には1ユーロ＝149.78円に到達しました。その後、ECB量的緩和導入決定等によりユーロは下落基調を強め、3月には一時1ユーロ＝126.91円まで円高・ユーロ安水準に到達し、1ユーロ＝128.68円で期末を迎えました。

●運用実績の推移および運用方針

①当期の運用実績の推移	特別勘定の運用状況をご参照ください。
②当期の運用方針	当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
③今後の運用方針	当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2014年度決算（決算日：2015年3月31日）を行いました。当資料は2014年度の運用状況をご報告するものです。
3ページ以降は特別勘定レポート（2015年4月発行（2015年3月末現在））からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

B1505026-000

●特別勘定資産の内訳（2014年度末）

（単位：百万円）

区分	金額
	世界バランス55MU
現預金・コールローン	489
有価証券	11,120
公社債	－
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	11,120
貸付金	－
その他	60
貸倒引当金	－
合計	11,670

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況（2014年度）

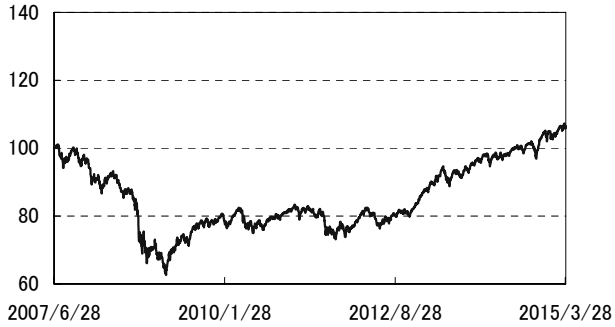
（単位：百万円）

区分	金額
	世界バランス55MU
利息配当金等収入	1,207
有価証券売却益	－
有価証券償還益	－
有価証券評価益	6,368
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	6,071
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	1,504

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用状況（2014年度末）

●ユニットプライスの推移



●ユニットプライスの期間収益率（直近1年）

	ユニットプライス	前月比	期間収益率（左記基準日より2015年3月末現在まで）
2014年3月31日	97.85	−0.12%	8.78%
2014年4月30日	98.03	0.18%	8.58%
2014年5月31日	99.14	1.14%	7.36%
2014年6月30日	100.09	0.95%	6.35%
2014年7月31日	100.45	0.37%	5.96%
2014年8月31日	100.93	0.48%	5.46%
2014年9月30日	101.05	0.12%	5.33%
2014年10月31日	100.96	−0.09%	5.43%
2014年11月30日	104.71	3.71%	1.66%
2014年12月31日	104.97	0.25%	1.40%
2015年1月31日	103.91	−1.01%	2.44%
2015年2月28日	106.51	2.51%	−0.07%
2015年3月31日	106.44	−0.07%	－

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

●特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比
投資信託	11,120	95.3%
現預金その他	550	4.7%
純資産総額	11,670	100.0%

※保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現預金を保有しています。
※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

●有価証券の売買状況（2014年度）

（単位：千口、千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス55MU	三菱UFJバランスファンド55VA（適格機関投資家限定）	－	－	3,833,577	3,566,681

※単位未満切捨て

●保有契約高（2014年度末）

（単位：件、百万円）

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険GF　三味一体（世界バランス55MU）	1,878	11,644

※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

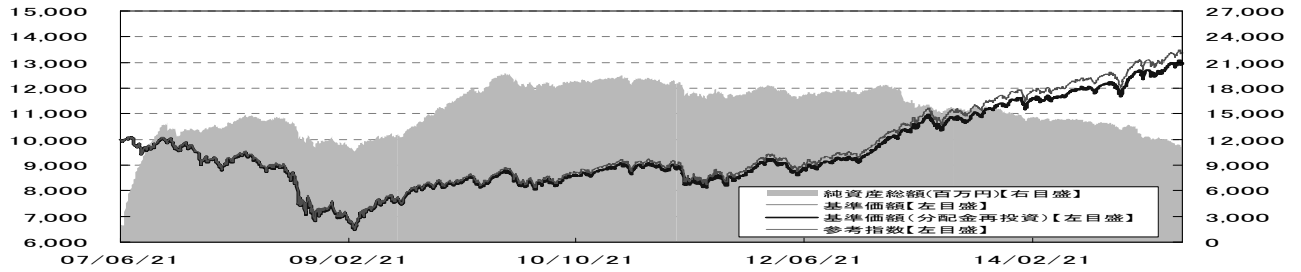
種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	世界バランス55MU	三菱UFJバランスファンド55VA（適格機関投資家限定）	三菱UFJ投信	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行い、外国債券部分については原則として為替ヘッジを行いません。基本資産配分は、日本株式10%、外国株式（為替ヘッジあり）45%、外国債券（為替ヘッジなし）15%、日本債券（短期金融資産を含む）30%です。

【組入投信の運用概況】　　2015年03月31日現在

三菱ＵＦＪ バランスファンド５５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）（世界バランス５５ＭＵ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



・基準価額、基準価額(分配金再投資)、参考指数は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。信託報酬率は、純資産総額に対し年率0.25%(税抜)です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
・参考指数はNOMURA－ BPI総合インデックス30%、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)10%、シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)15%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース)45%で組み合わせた合成指数です。なお、NOMURA－ BPI総合インデックス、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)、シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)については設定日前営業日を、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース)については設定日翌営業日をそれぞれ計算の起点としています。
・NOMURA－ BPI総合インデックスとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA－ BPI総合インデックスは野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の算出もしくは公表の停止または東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。シティ世界国債インデックス(除く日本)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)とは、シティ世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース)に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

◆ファンド現況

	2015/3/31	前月末	前月末比
基準価額	12,989円	12,968円	+21円
純資産総額(百万円)	11,120	11,752	−631

◆資産構成

	標準資産配分	ﾌｧﾝﾄﾞの資産構成
国内株式	10.00%	10.14%
国内債券	30.00%	29.95%
外国株式(ヘッジあり)	45.00%	44.56%
外国債券	15.00%	14.83%
短期金融商品	0.00%	0.53%
合計	100.00%	100.00%

*ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。
・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融商品」の値がマイナスで表示されることがあります。
(注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

◆ファンドの特色

①日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券およびヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

②日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、TOPIXマザーファンド受益証券10%、外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%およびヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド受益証券45%を標準資産配分とし、これを維持します。

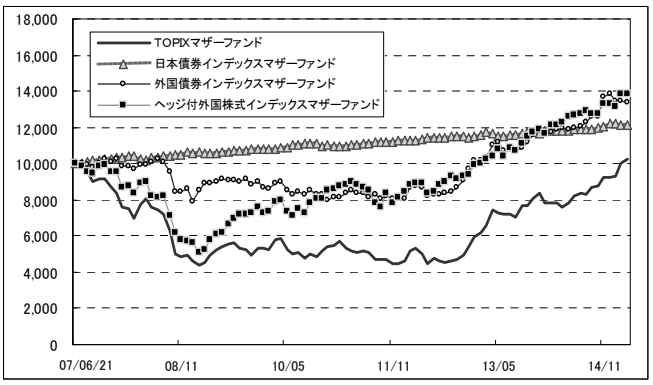
③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1ヵ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ﾌｧﾝﾄﾞ	0.16%	2.14%	6.88%	11.88%	41.42%	29.89%
参考指数	0.18%	2.22%	7.03%	12.28%	43.21%	34.00%
差	−0.02%	−0.08%	−0.15%	−0.40%	−1.79%	−4.11%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。
　また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆各マザーファンド基準価額推移



・グラフは三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日(ヘッジ付外国株式インデックスマザーファンドは設定日)を10,000として指数化しています。

◆分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2015/2/20	2014/2/20	2013/2/20	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

・1万口当たりの税引き前分配金実績です。

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。
　ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

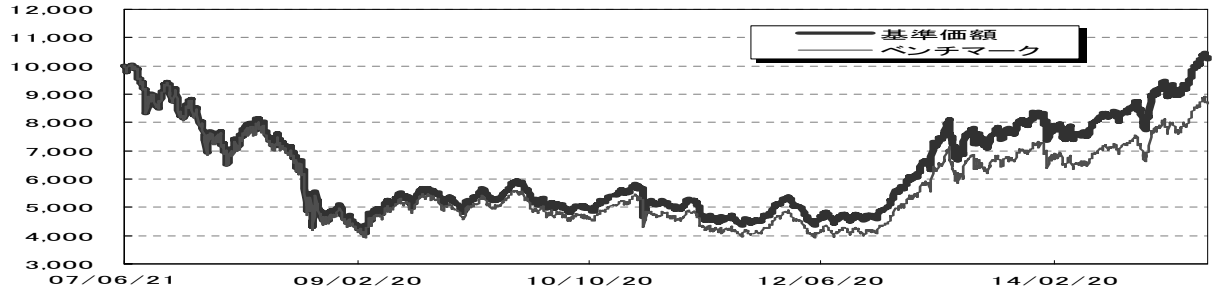
【組入投信の運用概況】　　2015年03月31日現在

三菱ＵＦＪ バランスファンド５５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）（世界バランス５５ＭＵ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況　TOPIXマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）です。・東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	99.55%	98.93%	0.62%
内 現物	98.00%	97.79%	0.21%
内 先物	1.54%	1.14%	0.41%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.05%	10.53%	17.47%	30.66%	91.96%	2.18%
ベンチマーク	1.26%	9.63%	16.35%	28.28%	80.62%	-13.49%
差	0.79%	0.90%	1.12%	2.37%	11.34%	15.67%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を起点として計算しています。

◆株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	13.14%	13.14%
2	輸送用機器	11.73%	11.73%
3	銀行業	8.87%	8.87%
4	情報・通信業	6.68%	6.68%
5	化学	6.15%	6.15%
6	医薬品	5.04%	5.04%
7	機械	5.00%	5.00%
8	小売業	4.39%	4.39%
9	食料品	4.17%	4.17%
10	陸運業	4.09%	4.09%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆株式組入上位10銘柄

（組入銘柄数：1858 銘柄）

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	5.03%	5.13%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.56%	2.61%
3	ソフトバンク	1.58%	1.62%
4	ホンダ	1.53%	1.56%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.49%	1.52%
6	みずほフィナンシャルグループ	1.26%	1.28%
7	日本電信電話	1.24%	1.27%
8	ファナック	1.19%	1.21%
9	KDDI	1.19%	1.21%
10	キヤノン	1.07%	1.09%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注）当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。
ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

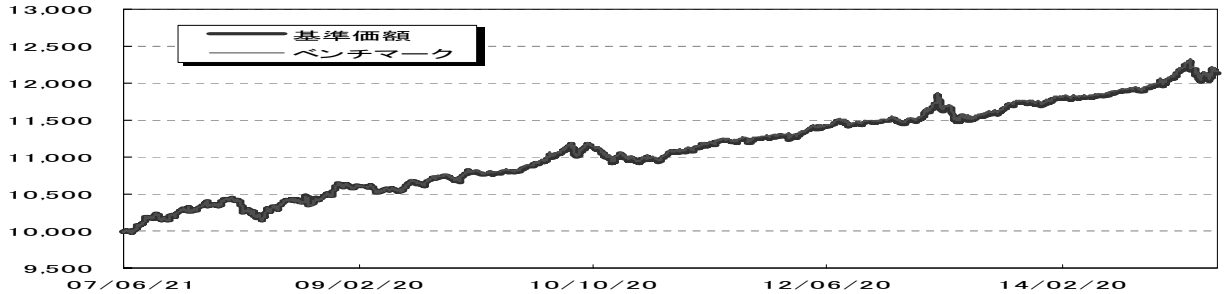
【組入投信の運用概況】　　2015年03月31日現在

三菱ＵＦＪ バランスファンド５５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）（世界バランス５５ＭＵ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況　日本債券インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、NOMURA－ BPI総合インデックスです。・NOMURA－ BPI総合インデックスとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA－ BPI総合インデックスは野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	100.27%	99.89%	0.38%
内 現物	100.27%	99.80%	0.47%
内 先物	0.00%	0.09%	−0.09%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.06%	−0.46%	1.64%	2.97%	7.41%	21.30%
ベンチマーク	0.07%	−0.46%	1.64%	2.97%	7.42%	21.58%
差	−0.01%	0.00%	−0.00%	−0.00%	−0.01%	−0.28%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を起点として計算しています。

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	9.10年	8.75年
修正ﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ	8.10年	8.03年
複利利回り	0.41%	0.41%

・数値は、修正デュレーションを除き債券現物部分について計算しています。

◆公社債種別構成比

種別	比率
国債	81.01%
政保債	3.48%
地方債	6.66%
金融債	0.88%
事業債	6.16%
円建外債	0.67%
MBS	1.28%
ABS	0.12%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	0.40%
1～3年	22.03%
3～7年	29.71%
7～10年	16.39%
10年以上	31.75%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債組入上位10銘柄

（組入銘柄数：898 銘柄）

	銘柄	種別	ｸｰﾎﾟﾝ	償還日	比率
1	第117回利付国債(5年)	国債	0.200%	2019/3/20	1.22%
2	第116回利付国債(5年)	国債	0.200%	2018/12/20	1.15%
3	第285回利付国債(10年)	国債	1.700%	2017/3/20	1.09%
4	第329回利付国債(10年)	国債	0.800%	2023/6/20	1.06%
5	第333回利付国債(10年)	国債	0.600%	2024/3/20	0.99%
6	第334回利付国債(10年)	国債	0.600%	2024/6/20	0.99%
7	第122回利付国債(5年)	国債	0.100%	2019/12/20	0.98%
8	第106回利付国債(5年)	国債	0.200%	2017/9/20	0.95%
9	第305回利付国債(10年)	国債	1.300%	2019/12/20	0.94%
10	第102回利付国債(5年)	国債	0.300%	2016/12/20	0.91%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注）当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。
ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

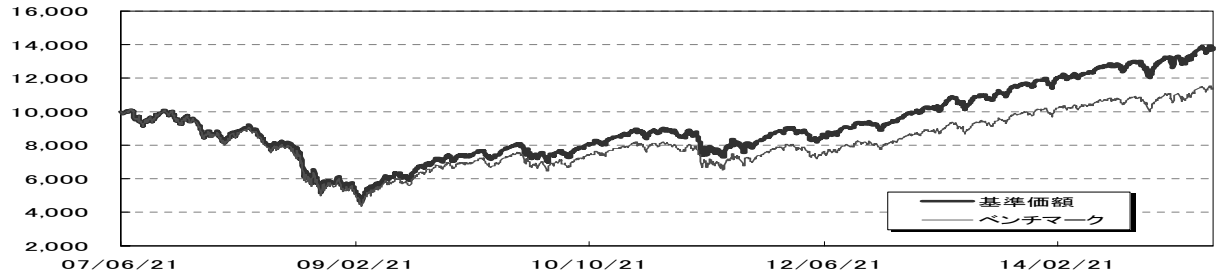
【組入投信の運用概況】　　2015年03月31日現在

三菱ＵＦＪ バランスファンド５５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）（世界バランス５５ＭＵ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況　ヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）を（ベンチマークは設定日の翌営業日を）10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、MSCI Kokusai Index（MSCIコクサイインデックス）（円ヘッジ・円ベース）です。・MSCI Kokusai Index（MSCIコクサイ インデックス）（円ヘッジ・円ベース）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI Kokusai Index（MSCIコクサイ インデックス）（円ヘッジ・円ベース）に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	99.15%	99.70%	-0.55%
内 現物	96.63%	98.41%	-1.79%
内 先物	2.52%	1.28%	1.24%

・比率は純資産総額に対する割合です。

（注）REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.06%	3.94%	8.47%	14.24%	54.86%	38.38%
ベンチマーク	-0.19%	3.42%	7.34%	11.59%	44.22%	14.51%
差	0.24%	0.52%	1.12%	2.65%	10.64%	23.87%

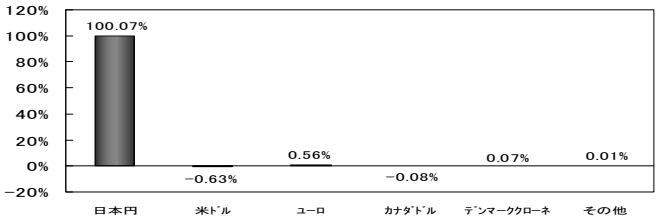
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・ベンチマークの設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の翌営業日を起点として計算しています。

◆株式国別配分上位

	国名	比率
1	アメリカ	62.91%
2	イギリス	8.43%
3	ドイツ	4.07%
4	フランス	4.05%
5	カナダ	3.98%
	その他	16.56%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

◆株式組入上位10業種

	業種	比率
1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	10.37%
2	銀行	9.37%
3	エネルギー	8.08%
4	資本財	7.14%
5	ソフトウェア・サービス	7.11%
6	食品・飲料・タバコ	6.16%
7	素材	5.05%
8	テクノロジ・ハードウェア・機器	4.58%
9	保険	4.30%
10	各種金融	4.07%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆株式組入上位10銘柄

（組入銘柄数：1319 銘柄）

	銘柄	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	2.31%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.13%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.00%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.89%
5	WELLS FARGO & CO	アメリカ	銀行	0.84%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.79%
7	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.77%
8	NOVARTIS AG-REG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.73%
9	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.71%
10	PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.70%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注）当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。
ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

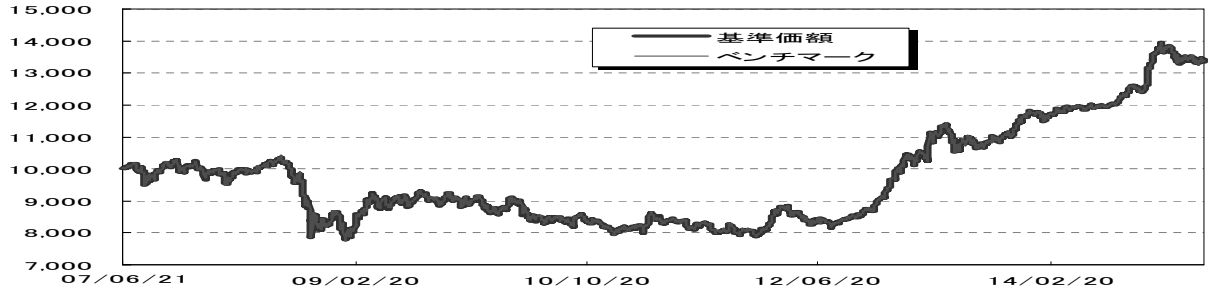
【組入投信の運用概況】　　2015年03月31日現在

三菱ＵＦＪ バランスファンド５５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）（世界バランス５５ＭＵ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況　外国債券インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）です。・シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）とは、シティ世界国債インデックス（除く日本）をもとに、委託会社が計算したものです。

◆資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.45%	99.73%	-0.28%
内 現物	99.45%	99.73%	-0.28%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.40%	-3.09%	6.48%	12.88%	53.11%	34.17%
ベンチマーク	-0.52%	-3.28%	6.41%	12.89%	53.53%	34.12%
差	0.11%	0.18%	0.07%	-0.01%	-0.42%	0.05%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）の設定日（2007年6月21日）の前営業日を起点として計算しています。

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	7.87年	7.91年
修正ﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ	6.76年	6.86年
複利利回り	1.05%	1.04%

・数値は、債券現物部分について計算しています。

◆公社債通貨別構成比

	通貨	比率
1	米ドル	41.67%
2	ユーロ	40.86%
3	英ポンド	8.20%
4	カナダドル	2.21%
5	オーストラリアドル	1.70%
	その他	4.83%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	0.52%
1～3年	28.04%
3～7年	33.05%
7～10年	13.52%
10年以上	24.32%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債組入上位10銘柄

（組入銘柄数：697銘柄）

	銘柄	種別	ｸｰﾎﾟﾝ	償還日	国名	比率
1	2.5 T-NOTE 240515	国債	2.500%	2024/5/15	アメリカ	0.54%
2	2.375 T-NOTE 240815	国債	2.375%	2024/8/15	アメリカ	0.46%
3	2.625 T-NOTE 201115	国債	2.625%	2020/11/15	アメリカ	0.46%
4	3.625 T-BOND 430815	国債	3.625%	2043/8/15	アメリカ	0.42%
5	1.625 T-NOTE 190630	国債	1.625%	2019/6/30	アメリカ	0.40%
6	1.5 T-NOTE 180831	国債	1.500%	2018/8/31	アメリカ	0.39%
7	2.125 T-NOTE 210815	国債	2.125%	2021/8/15	アメリカ	0.39%
8	6 ITALY GOVT 310501	国債	6.000%	2031/5/1	イタリア	0.38%
9	1.625 T-NOTE 190831	国債	1.625%	2019/8/31	アメリカ	0.37%
10	5.75 O.A.T 321025	国債	5.750%	2032/10/25	フランス	0.37%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注）当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。
ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。

	項　目	内　容	費　用	備　考（適用時期等）
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の**4**%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用（保険契約管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して年率**2.55**%	特別勘定の純資産総額に対して年率2.55%／365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用*（資産運用管理費）	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率**0.27**%程度（税抜0.25%程度）	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率0.27%程度／365日を乗じた額を毎日控除します。
年金支払期間中	保険関係費用（年金管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して**1.0**%以内	年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除します。

＊資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。
なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品はご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動（増減）につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。
また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

ご注意いただきたい事項

■「投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。
また、預金保険制度の対象ではありません。

■「投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金（年金支払期間15年）のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社
ホームページ http://www.tmn-anshin.co.jp

ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせ
0120-155-730
受付時間　月～金／9:00～17:00
（祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。）

＊300701＊